

第2回野沢地区のまちづくりの構想策定に係る有識者会議 次第

日時：9月20日（金）

午前 10時30分～

場所：市役所7階 701会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議事

(1) 有識者会議で出された意見について

(2) 野沢地区のまちづくりの構想のフレームについて

(3) その他

4 その他

5 閉 会

第 1 回野沢地区のまちづくりの構想策定に係る有識者会議 における提案事項

第 1 回目の有識者会議において、出された意見を「機能等に関する事項」と「まちづくりのために考慮すべき事項」に分け、取りまとめた。

機能等に関する事項

有識者会議において出された機能等に関する主な提案事項については、以下のとおり。

△
要素
理由
機能

- ① 野沢地区は学び、育て、日常の潤いがある、まさに暮らすまちであり、子ども達が安心して暮らせるまちであるので、このコンセプトを大事にして欲しい。
→子どもたちが安心して暮らせる
- ② 子どもが急病の場合等でも、すぐに病院に行けるという安心感があった。
→急病があった時もすぐに行ける
- ③ 昔は今と比べてバスの本数が多く、通勤にも利用していた。
→バスの本数の確保
- ④ まちの活気や人口増加について考えると、住宅地の供給は必要な事項である。
→住宅地の供給
- ⑤ 交通の便が弱い部分もあるが、対策を打つことで、若い世代に選ばれるまちとなれると考える。
→交通の便
- ⑥ 他地区では、新しく広い歩道ができたことで、ウォーキングをする人が増え、犬の散歩による飼い主同士のコミュニケーションが生まれ、学生などが通学路として利用している。
→広い歩道（交流の場）

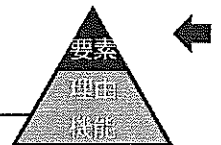
⑦ 野沢地区が持つ良さや古さも残しつつも、オシャレさがある店舗があれば、人の流れができると思う。

→オシャレさのある店舗

⑧ 公共施設にカフェが入ったもの等があるが、そのように、まちのシンボルであると同時に、人々が集まり、寄り添い、話し合い、世代間を越えた交流ができる施設が望まれているように思う

→(カフェのある図書館など) 人々が集まり、多世代交流ができる場

有識者会議における意見とまちづくりミーティングにおける意見の両者を踏まえ、改めて「まちづくりの要素」を位置づける。



■有識者会議での意見

⑥ 広い歩道 (交流の場)

⑧ (カフェのある図書館など) 人々が集まり、多世代交流ができる場

□まちづくりミーティングでの意見

・同世代、多世代で交流し、相互のコミュニケーションが図れる場所が必要

・生きがいづくりが図れる場所や機能が必要 など



1 多世代交流や生きがいづくりが図れるまち

■有識者会議での意見

- ⑥広い歩道（交流の場）
- ⑦オシャレさのある店舗
- ⑧（カフェのある図書館など）人々が集まり、多世代交流ができる場

□まちづくりミーティングでの意見

- ・他地区から人が訪れて、交流が図れる場所や機能が必要
- ・地域の魅力が発信され、地域に愛着や誇りを持つとともに、地域の魅力により地域に活力が呼び込める機能が必要 など



2 地域外との交流により活力を呼び込めるまち

■有識者会議での意見

- ⑧（カフェのある図書館など）人々が集まり、多世代交流ができる場

□まちづくりミーティングでの意見

- ・友達と話し、遊べ、集まれる場所が必要
- ・家族や友人との楽しい時間を長く過ごせる場所が必要 など



3 家族、友達、多世代との時間が共有できるまち

■有識者会議での意見

- ②急病があった時もすぐに行ける
- ③バスの本数の確保
- ④住宅地の供給
- ⑤交通の便

□まちづくりミーティングでの意見

- ・生活に必要なものが、便利に、他地区まで行かずに、一箇所で手に入る場所が必要
- ・まちがコンパクトにまとまり、徒歩や自転車などによるアクセスが容易となる必要がある など



4 毎日の生活の利便性があり、生活に必要な機能がコンパクトにまとまったまち

■有識者会議での意見

- ⑧（カフェのある図書館など）人々が集まり、多世代交流ができる場

□まちづくりミーティングでの意見

- ・生活のアクセントとなるような、気分転換できる場所や機能が必要
- ・家事や子育ての息抜きができる場所や機能が必要 など



5 気分転換やリラックスができるまち

■有識者会議での意見

①子どもたちが安心して暮らせる

□まちづくりミーティングでの意見

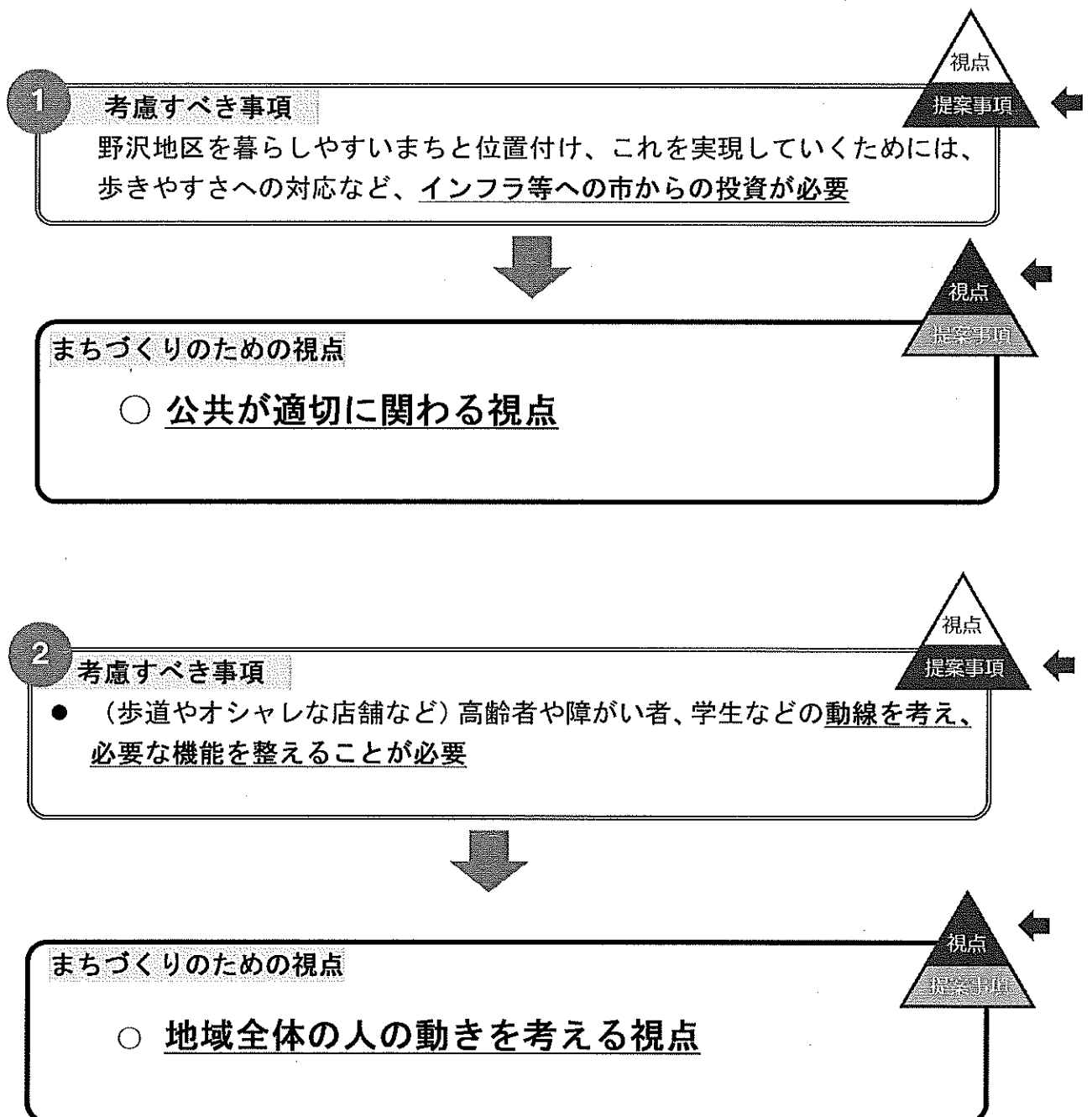
- ・子どもが学び、遊べ、自分を高め、交流し、社会全体で子どもを見守れる場所が必要
- ・毎日の暮らしの安心、安全が確保されるための機能が必要など

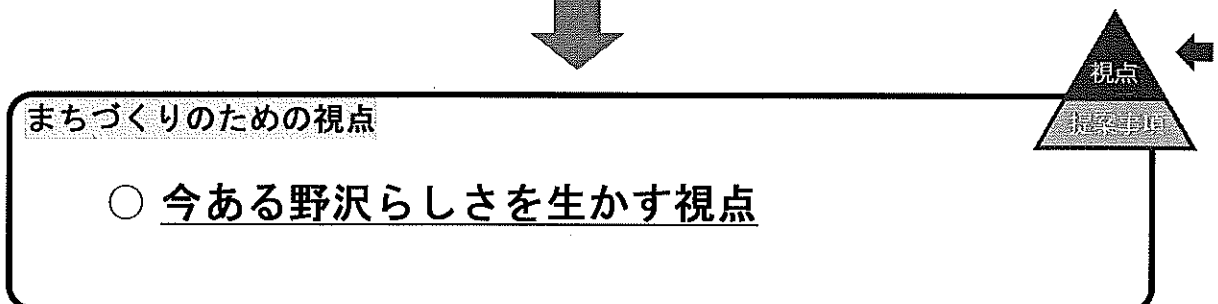
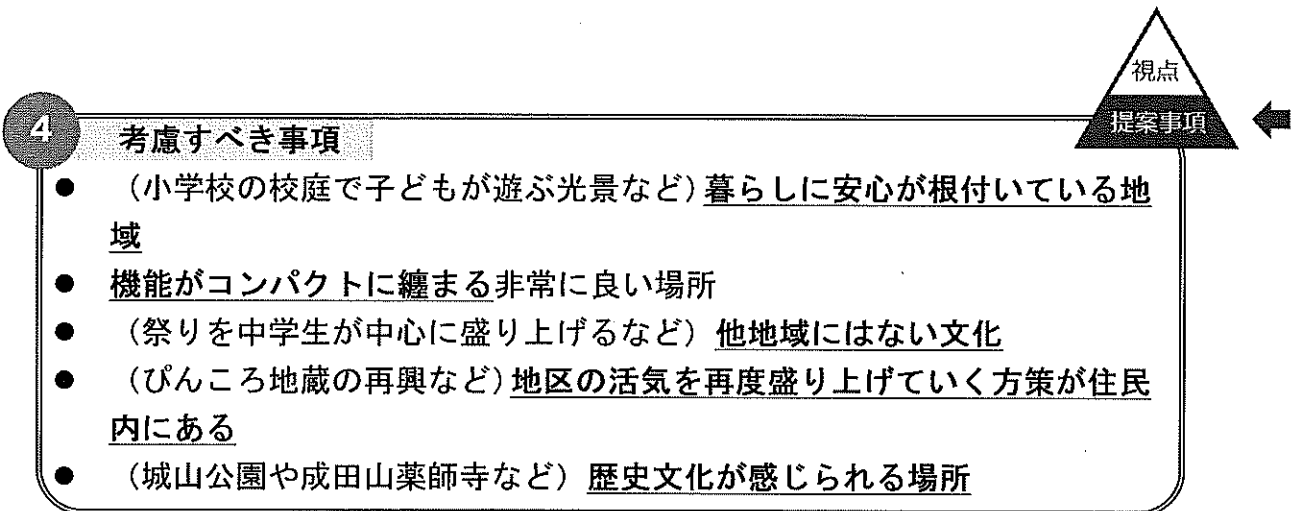
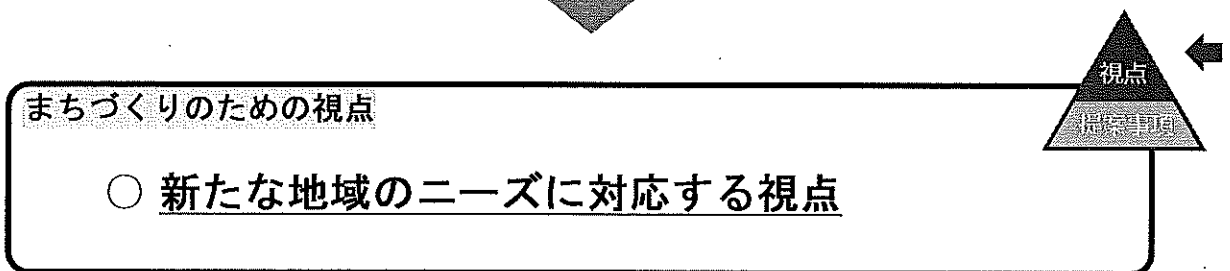
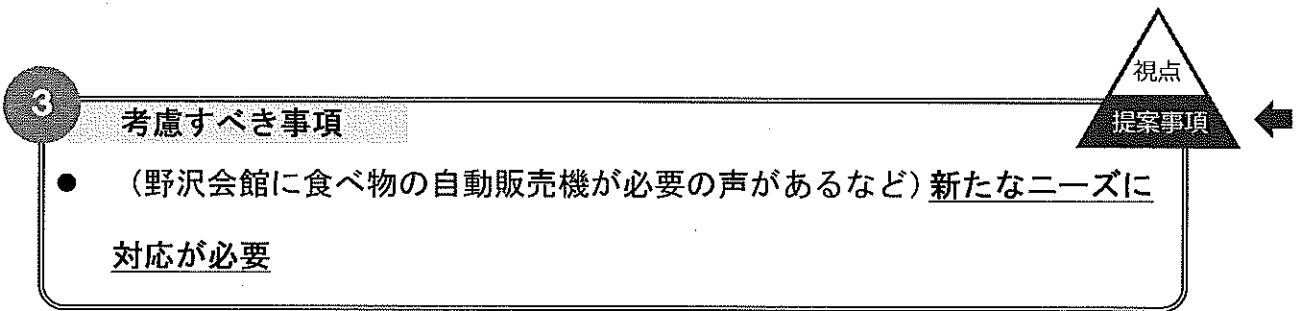


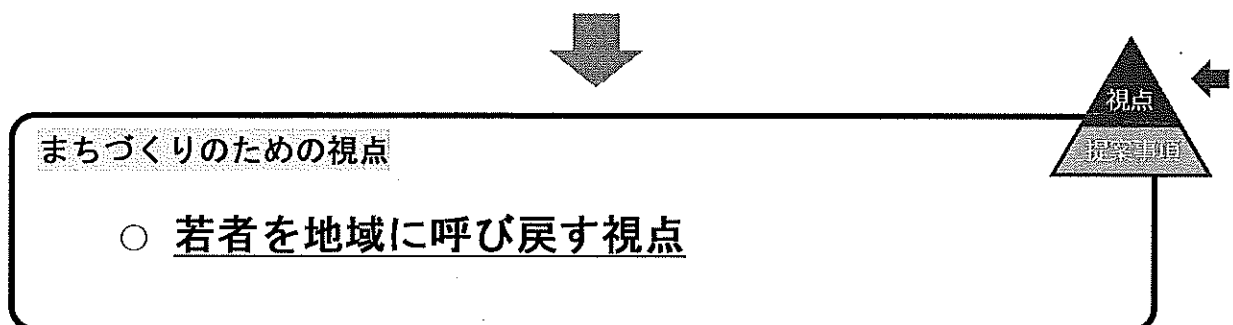
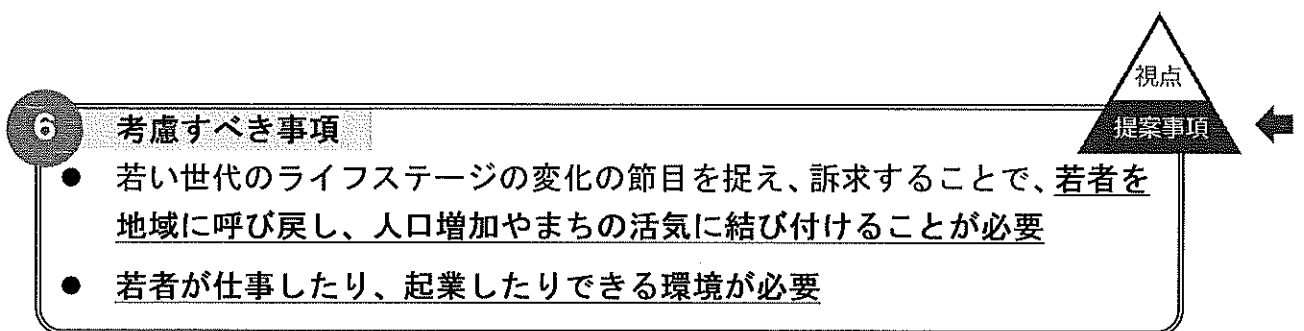
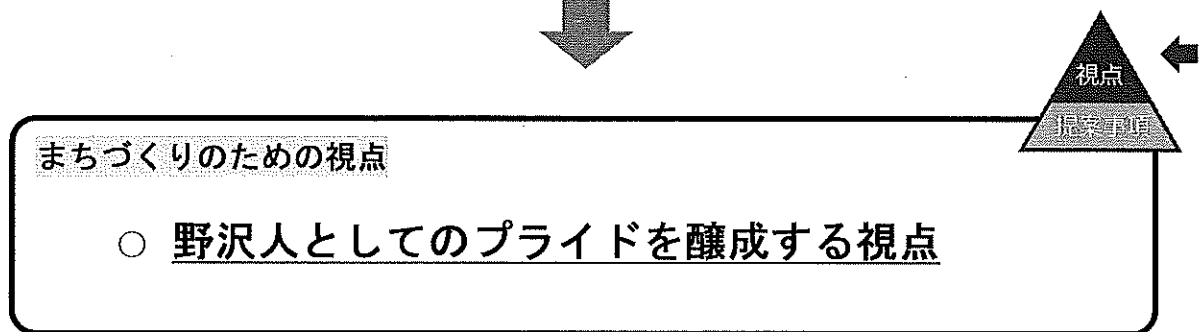
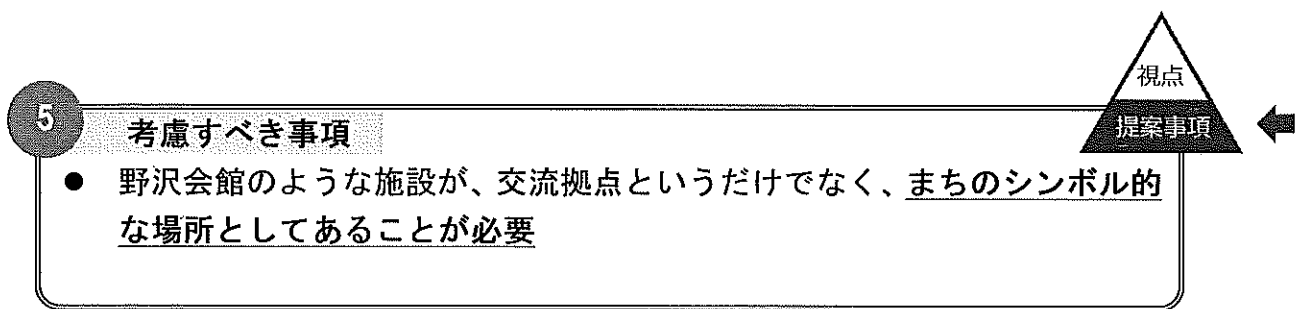
6 子どもたちが健全に育つまち

まちづくりのために考慮すべき事項

まちづくりミーティングでは、将来必要となるまちの機能に焦点を置き意見交換を実施した。一方で有識者会議においては、まちづくりに対して幅広く意見をいただいたことにより、まちづくりミーティングでは出されなかった、まちづくりのために考慮すべき事項も、新たな意見として出された。このことから、まちづくりのために考慮すべき事項を種別ごとに分けたうえで、「まちづくりのための視点」として取りまとめを行った。







7

考慮すべき事項

- 定住人口だけでなく、つながりによる関係人口にも着目し、訪れる人を増やすことが必要

視点

提案事項



まちづくりのための視点

- つながり人口、新たな人の流れを生み出す視点

視点

提案事項

野沢地区のまちづくりの構想における まちづくりの方向性

まちづくりミーティングおよび有識者会議で出された「まちづくりのための要素」と「まちづくりのための視点」から、野沢地区のまちづくりの構想策定のための方向性を定める。

まちづくりのための要素

- 1 多世代交流や生きがいづくりが図れるまち
- 2 地域外との交流により活力を呼び込めるまち
- 3 家族、友達、多世代との時間が共有できるまち
- 4 毎日の生活の利便性があり、生活に必要な機能がコンパクトにまとまったまち
- 5 気分転換やリラックスができるまち
- 6 子どもたちが健全に育つまち

まちづくりのための視点

- 公共が適切に関わる視点
- 地域全体の人動きを考える視点
- 新たな地域のニーズに対応する視点
- 今ある野沢らしさを生かす視点
- 野沢人としてのプライドを醸成する視点
- 若者を地域に呼び戻す視点
- つながり人口、新たな人の流れを生み出す視点

まちづくりの方向性

「まちづくりのための要素」を踏まえ、「まちづくりのための視点」を持って「まちづくりの方向性」を定める。

要素	視点	方向性
<ol style="list-style-type: none"> 1 多世代交流や生きがいづくりが図れるまち 2 地域外との交流により活力を呼び込めるまち 3 家族、友達、多世代との時間が共有できるまち 4 毎日の生活の利便性があり、生活に必要な機能がコンパクトにまとまったまち 5 気分転換やリラクセスができるまち 6 子どもたちが健全に育つまち 	<p>公共が適切に関わる視点</p> <p>地域全体の人動きを考える視点</p> <p>新たな地域のニーズに対応する視点</p>	<p>生活環境の充実により、安心・安全を実感でき、人々が歩きたくなるまちづくり</p>
	<p>今ある野沢らしさを生かす視点</p> <p>野沢人としてのプライドを醸成する視点</p>	<p>地域の魅力を磨き上げることで、世代や地域を越えた交流が生まれるまちづくり</p>
	<p>若者を地域に呼び戻す視点</p>	<p>子育てのしやすさや住みやすさから、若者に選ばれるまちづくり</p>
	<p>つながり人口、新たな人の流れを生み出す視点</p>	<p>活発な交流が図れる、にぎわいのあるまちづくり</p>

野沢地区のまちづくりの構想フレーム（案）

1 地区の概要

(1) 人口：17,638人（H27国勢調査）

位置：市の中心部～南西部にかけて位置し、国道141や254（142）が交わり、中部横断道が通る地区であり、市内各所へのアクセスが良い地域である。

(2) 地区の状況

- ・ 農地の保全による自然的土地利用との調和
- ・ 公共施設や生活機能の集積
- ・ 中部横断道の開通とそれに伴う開発
- ・ 野沢地区における人口動態
- ・ 野沢会館の建て替え

2 市民意見とまちづくりの方向性

(1) 構想策定に係る市民意見

ア まちづくりミーティングで寄せられた意見について

イ 有識者会議で寄せられた意見について

(2) まちづくりのための要素と視点

寄せられた意見をもとにした、「まちづくりのための要素」や「まちづくりのための視点」の取りまとめ

ア まちづくりのための要素

イ まちづくりのための視点

(3) まちづくりの方向性

「まちづくりのための要素」と「まちづくりのための視点」を踏まえ、まちづくりの方向性を定める。

3 まちづくりの方向性

(1) …

(2) …

(3) …

(4) …

(5) …

(6) …